

# Governor's Monthly Letter To Club Presidents and Secretaries

Rotary International District 2550



2006～2007年度  
国際ロータリーのテーマ

## 率先しよう

RI会長 ウィリアム B. ボイド  
ガバナー 落合 雅雄



太平山麓にある太山寺(たいさんじ)のシダレザクラ(栃木市)

### CONTENTS

- p.1 落合ガバナーメッセージ
- p.3 地区ロータリー委員会挨拶
- p.5 WCSに参加したインターアクター奮闘記③
- p.6 宇都宮西ロータリークラブ創立45周年を迎えて
- p.7 宇都宮南ロータリークラブ創立25周年を迎えて
- p.8 IM開催報告
- p.13 第2550地区大会RI会長代理速報
- p.14 物故会員/第2550地区新入会員
- p.16 地区主要行事予定/文庫通信
- p.17 2007年2月第2550地区会員増強、出席報告

今月のロータリーレート  
1\$ = 118円

2007.4  
No.10

4月:雑誌月間



国際ロータリー第2550地区ガバナー事務所

〒328-0042 栃木県栃木市沼和田町12-15 平和ハイツ2F  
TEL 0282-20-2020 FAX 0282-20-2025  
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp



## 氾濫する情報とその選択

国際ロータリー第2550地区  
2006～2007年度ガバナー

**落合 雅雄**  
(栃木西RC)

サンダンス映画祭受賞作品ドキュメンタリー映画「南京」は、当時の記録フィルムと中国の生存者、旧日本兵士へのインタビュー、欧米人の記録などで構成されている。犠牲者は20万人以上（東京裁判時の数字）と、靖国神社で万才を叫ぶ軍服姿の現在？の日本人の映像もあり、日本と日本人が嫌いになるように仕上げられている。「近代史上最も残虐な行動」として紹介することで、触れられたくない殺戮や虐待の歴史がある全ての国の人々を安堵させることになるだろう。

南京事件50周年、60周年の際にはなかったことが70周年の今年に突如起こっている。海外の華人団体が米国人と連帯した組織的な策動と、日本が戦争責任否定に向かうのではという疑念など、意図的な反日キャンペーンに他ならないと岡本行夫は述べています。

一方、1938年国際連盟理事会で「支那問題に関する決議」採択に際して、日本兵士による南京や杭州での虐殺事件について犠牲となった中国人民間人の数は2万人と見積もられ、少女を含め何千人の女性が強姦されたと伝えられて、最も正確に把握していた時に出された数字でした。(当時のディリーテングラフ、モーニングポスト誌)しかし今の中国政府は、30万人が虐殺されたと主張し反日運動の増幅に余念が無い状況であること周知のとおりです。

この様に意図的に操作された情報が、いつの間にか真実のような顔をして大手を振ってまかり通ってしまう例は、枚挙にいとまがありません。「あるある大事典」に見るように情報の捏造やヤラセが日常茶飯事に発生する今日はまた、ハイテクIT時代で、地球の何処からでもリアルタイムにペーパーレスで情報が得られることができます。

情報技術は、いま秒進分歩、高性能化、多機能化が猛スピードで進行中であり、情報リテラシーとしてパソコンに習熟していることが求められています。

しかし、これからの社会は、多様化が進んだ様々な個人のライフスタイルに合わせた製品やサービスの選択肢が豊富な社会であるべきで技術はこれを表現するために開発し応用されなければならない。使える人はエリートという風潮は本末転倒である。(川畑正大、南加大教授)という警告もあります。多様な情報について、その真贋の判別が困難な場合も少なからずあることでしょう。

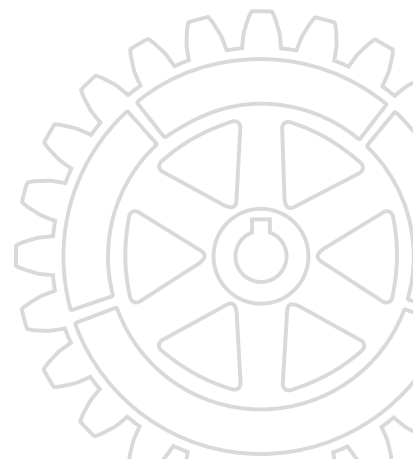
一昨年四月から個人情報保護法が施行され、プライバシーの保護について、過剰反応により引き起こされた様々な問題が報じられております。昨年の地区協議会において、クラブ会長からロータリークラブ会員名簿の取扱いに関して、名簿に登載する範囲について提案がありましたが、各クラブの裁量に任せることとなりました。

ロータリーにおいて、活字を媒体とする雑誌による情報の伝達は、今日でも基本でありロータリアンの、ロータリアンによる、ロータリアンのためのノンフィクションの情報が全員に亘って満載されている「ロータリーの友」の購読は、ロータリアンの義務の一つであることはご存知のとおりです。ロータリーのPRに役立つため適当なところへの配布が奨められています。

また地区ガバナーがクラブ会長・幹事に配信するガバナー月信は、地区内ロータリアン全員に慣例として配布され、必要な情報は漏れ無く伝達するよう心掛けております。

地区と「ロータリーの友」を繋ぐ地区ロータリーの友委員は、地区の情報について「ロータリーの友」へ伝達する役目を持っており、委員から要請があった時は、雑誌への投稿などクラブと地域に関する情報の提供をお願いします。

情報過多の時代、情報の取捨選択による交通整理が必要ですが、「ロータリーの友」はロータリーの宝庫であることに変わりありません。





## 「世界ローターアクト週間にちなんで」

地区ローターアクト委員長

**小林 正明**

(宇都宮東RC)

ローターアクトが最初にできたのは1968年3月13日です。国際ロータリーは、この3月13日を含む1週間を「世界ローターアクト週間」と設定し、ロータリークラブと協同し、互いの会合に出席し、奉仕プロジェクトと一緒に完了し、そして近くのロータリークラブにも、新しいローターアクトクラブ設立のために働きかけましようと呼びかけています。

1962年にインターアクトクラブが創設され、中高生をターゲットにした青少年奉仕のプログラムが始まりました。この卒業生を引き受けるための団体としてできたのがローターアクトクラブです。しかし既に1920年代にロータリークラブとして青少年に対してローターアクトクラブと似たような組織を作っていました。

まず最初は1922年に“20-30クラブ”をアメリカのサクラメントRCで、ロータリークラブが後援するという原則に基づいて、若い専門家と大学生を対象に創られました。その主旨は、ローターアクトクラブと非常に似ています。カリフォルニア内のロータリークラブが最大で、185クラブの“20-30クラブ”を創って活動していたということです。

イギリスとアイルランドでは1927年に、18~40歳までの男性だけの“ラウンドテーブルクラブ”が同じ主旨で作られました。1935年までに90以上ものクラブができました。

1920年代から30年代にかけて、各地区のロータリークラブは、青少年のためのクラブを独自に創り続けたと記録されています。

インドではユニッサーワーククラブ、南アメリカではオルビスクラブ、また、アメリカにはクェンドラントクラブもありました。

その後世界大戦が明けた1962年に、アメリカのロータリークラブは、こぞって高等学校でインターアクトクラブを作って拡大して行きました。インターアクトクラブはRIでもすぐに青少年プログラムとして推しましたので、世界に同じ条件で広まることになりました。

インターアクトクラブでロータリー精神を学んだ若者が高校を卒業した段階で行き場がなくなるということで、アメリカのノースシャーロットRCが大学を基盤としたローターアクトをつくりました。それもすぐにRIが採用して、全世界にローターアクトクラブが組織されるようになりました。日本では同じ年初めて、国際商科大学RAC(現、川越RAC)が発足しました。

ローターアクトが世界的に採用されると、今後は1981年から全てのローターアクターが集まる国際会議が企画され、以来3年ごとに行われています。2005年9月には、第7回世界会議がミュンヘンで行われます。再来年の2009年には韓国で開催されます。

その他にもロータリーの国際大会では2~3日前からプレコンベンションが開かれ、青少年に関する会議が行われます。

大阪で行われた国際大会では財政難のため行わないと決定が出てしまい、それに対し、日本のロータリアンとロー



ターアクターが猛烈なる抗議を行い、プレコンベンションはできませんでしたが、本大会のプログラムの中に、ローターアクトワークショップ、ヤングユースエクスチェンジワークショップが組み込まれました。

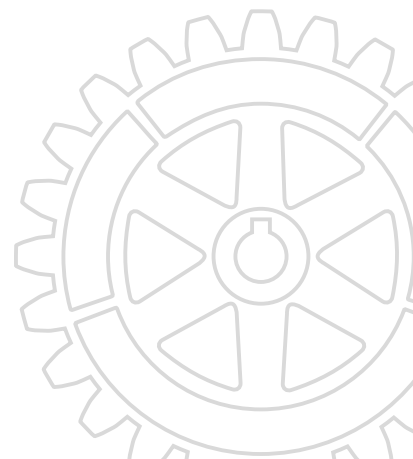
私は、そのローターアクトワークショップを見学してきました。そこではグループ別討議が行われましたが、他の国のローターアクターもやっていることや悩みは殆ど同じです。そこでローターアクトは全国的な、そして国際的な展開をスケールメリットとして享受できるのではないかと思います。ロータリアンもローターアクターもそのことには余り気づいていないように思いました。全世界に同じ仲間がたくさんいるということを我々も意識し、ローターアクターにも意識して欲しいと思います。また、そうなるようにローターアクターを指導しながら活動しております。

現在日本は全地区とも最低2つ以上のローターアクトクラブを擁しています。2550地区は日本で一番ローターアクトのメンバーが少ない地区ですが、ただ単純に数だけで関心がないとか活動していないとは言えません。ここ3年の「ゴミゼロ大作戦」や、県の「社会貢献活動広報誌まるにえる」の発行業務委託など、当地区の活動が全国的に注目を浴びているものもあります。

昨年度のローターアクト地区年次大会では、盲導犬支援事業のコンサート開催、収益性の高い事業を展開し、地域にも高い評価を受けました。

また、ローターアクトクラブは年齢を下げたロータリークラブという発想で、組織体としては全く同じ構造です。ローターアクトクラブが繁栄しないということは、いずれロータリークラブもそうなるのではないかと危惧を抱かざるを得ません。我々ロータリアンは、ローターアクトクラブをしっかりと面倒を見る必要がありますし、ローターアクトクラブをロータリークラブに入れるメンバーを育てる機関として活用すべきではないかとも考えております。

今後とも、私たちの「未来」を担うローターアクトの活動に、より一層のご理解とご支援をお願い致します。





## 奉仕に汗を、情熱を、 そして未来に希望を！！

－WCSに参加したインターアクター奮闘記－③

インターアクト委員会委員長

**岡川 光 佑**

(宇都宮西RC)

昨夜の宿泊はアサンプション大学の寮であって医療奉仕には両方の生徒たちが協力し、汗水流して活動した。制度が違うので大学生とは言っても年齢的には日本の高校生の2、3年生と大学1、2年生とは同年代といってよい。

午後は両国の国際文化交流が企画されていた。



アサンプション大学生による民謡

大学生たちによる伝統的な舞踊が披露された。どのような内容かは定かではないが踊り手の「手」の動きの表情に特徴がある。インターアクター達はこの日のために特訓してきた沖縄民謡エイサーの「いちゅび小」（琉球語で「イチゴちゃん」の意）と北海道の「南中ソーラン」を披露した。踊りの開始前にはリーダーの公用語による解説があったから民謡の内容は通じた筈である。

更に足利工業大附属高校のインターアクター達は「車椅子の修繕」のセミナーを行い、現地に於いても実践活動のできる技術を汗みどろになって指導した。でも交流の点ではまだまだ深まったとはとても言う状況ではない。

夜はセントラルパムパンガーRC主催の夕食会がサンフェルナンド市の郊外にある大きな食堂で開催された。

ロータリアンの家族であろう。三々五々と集まり何時始まるともなく始まり、わいわいがやがや、その上音楽ががらん鳴り響く。歌を自慢とするロータリアンが次々と歌い出す。いつとはなしに音楽はダンス音楽に変わる。例のおばさんロータリアンが踊り出す。それからが問題だ。高校生の腕をつかんで舞台の真ん中まで引きずり出して踊らせる。逃げようとしても無駄な抵抗はかえって彼女らの餌食となってしまう。踊りなどどんな踊りでもかまわず、リズムにのるだけでいい。手当たり次第ペアを組ませて交流を強いたのである。

お祭りには囃子言葉、「わっしょい、わっしょい」というのがあるだろう。

その踊りにも囃子言葉と思われるものがあつた。確かに私の耳には「フェルナンドはいいな！」と聞こえ、延々と続いたのである。

“フェルナンドはいいな！フェルナンドはいいな！……（108回省略）……フェルナンドはいいな！フェルナンドはいいな！フェルナンドはいいな！フェルナンドはいいな！フェルナンドはいいな！”

かくして交流は一挙に進み、親睦は一段と深まり、心地よい汗、喜びの汗をかいたのである。さすが陽気なロータリアンに脱帽。



車椅子の修繕セミナー



## 「宇都宮西ロータリークラブ 創立45周年を迎えて」

宇都宮西ロータリークラブ会長

**尾崎 至伸**

(宇都宮西RC)

平成19年2月24日(土)宇都宮西ロータリークラブは創立45周年の式典を宇都宮グランドホテルにて開催いたしました。



式典には、落合雅雄ガバナーをはじめ近藤ガバナーエレクト、パストガバナー、宇都宮市内第3グループの会長・幹事様をお招きして、又遠方からは友好クラブの会長・幹事様又、当日話をいただいた米山奨学生コッチ・ムスタファ(トルコ)君のホストクラブ三重県鈴鹿ベイロータリークラブの会長・幹事・カウンセラーの皆様、西クラブからは会員64名とそのご婦人・物故会員の奥様ともどもこの

記念すべき45周年を祝いました。

松井実行委員長の質素で感動ある大会にしようとの号令のもと特別講演には名誉会員である立松和平氏に依頼し、環境の問題、南極の話等興味あふれる講演をいただきました。

トルコの米山奨学生コッチ・ムスタファ君の話は日本人があまり知らない明治時代天皇陛下への表敬訪問の帰途三重県串本町沖合いでトルコ軍艦が遭難、串本町の村人が総出で救助し69人が助けられたこと。トルコの教科書に載っていること。トルコ人はそのことを決して忘れないこと。

1985年イランイラク戦争でイラクのフセイン大統領が「イランの上空を飛ぶ全ての飛行機を打ち落とす」と声明を出し、各国の航空会社は自国民救出を優先したため200人の日本人が取り残され脱出までのリミットが迫るなかトルコ政府が日本人救出のため、特別機を派遣することを申し出、危険な戦場への飛行にも関わらず多くの乗務員が名乗りで、それがイラクからの攻撃数時間前の出来事だったそうです。私は母国とこのような繋がりをもった国で勉強できることを幸せに、うれしく思っています。将来は外交官になり世界平和に尽くしたい。日本との友好に尽力したい。と語ってくれました。

5時30分より祝宴に移り、出席の皆様へ最大のおもてなし、満足していただく料理をとホテル側と3度の試食会を行い、テーブルクロスや皿の大きさ等細部にわたり気を使いました。

宴途中には飛び入りでシニアピアノコンテスト入賞の経験もある松井委員長のピアノ演奏もあり、大いに盛り上がりました。黒須パストガバナーの奥様よりも「チャーターメンバーから若い会員まで心を合わせて盛んな様子が伺えた。他界した夫がいたらどんなに喜んだことかと存じます。」とのお礼の手紙を頂きました。大会関係者としてうれしいことです。



## 宇都宮南ロータリークラブ 創立25周年を迎えて

—教育そして生命—

宇都宮南ロータリークラブ会長

**小保方 信 聡**

(宇都宮南RC)

この度の式典にあたり、栃木県知事福田富一様、宇都宮市長佐藤栄一様、国際R I第2550地区ガバナー落合雅雄様、パストガバナーの皆さま、ガバナーエレクト近藤隆亮様、地区役員の皆様方、市内8クラブの会長幹事そして多数のロータリアンの方々には、ご多忙の中ご臨席を賜りまして御礼を申し上げます。



宇都宮南ロータリークラブは、1981年12月20日に宇都宮東ロータリークラブをスポンサークラブとして、特別代表辻由兵衛様並びに拡大委員の方々のご指導の下に創立総会を開催、翌1982年1月4日国際ロータリークラブの承認を受けて発足致しました。

その後幾星霜、初代大塚会長をはじめとして、歴代の会長幹事の皆様、そして全会員のたゆまぬ努力が実を結んで、晴れの2月17日を迎えることが出来ました。

本日の創立25周年「クオーター25」の中心テーマを

「教育そして生命」として準備を進めてまいりました。

何故にそうなのかとの問いには、毎日の如く発生している「いじめによる自殺の増加」「幼児・弱者虐待」「尊属殺人」等の多発に加えて、8年越しの3万人を超える自殺者数をあげたいと思います。

生命軽視の風潮は止まることを知らず、まるで社会の大切な「タガ」が外れてしまったかの様相を呈しています。

このような状況下での記念式典ですので、単なる記念事業に終わることなく、それに対して宇都宮南ロータリークラブとしては、「何を考え、何を行為（奉仕）したら良いか」内外から問われるところですので、国際R I会長ウィリアムBボイド会長の「率先しよう」並びに落合雅雄ガバナーの「ロータリーの現在の危機的状況を深く認識した上で、勇気を以ってその改善の為に率先して行動して欲しい」との方針をしっかりと受け止めて、この栄えある25周年という年を、宇都宮南ロータリークラブの更なる発展の年と位置づけさせていただいた次第です。

記念講演は、学校法人国際開洋学園理事長であられる井脇ノブ子先生の「教育への挑戦」—有為な人材の育成に懸ける—のタイトルで1時間半のご講演を賜りました。

長年、教育の現場で生徒に直接携わってきた体験を通じての講演でしたので、涙する方も見受けられて、一同深い感動に包まれました。

お蔭様で、ご来駕賜りました皆さまの暖かなご支援と、宇都宮南ロータリークラブ50名の努力が一つに結実して恙無く円成させていただきました。

最後になりましたが、今後とも宇都宮南ロータリークラブ発展の為に、ご指導を賜らんことをお願い申し上げます。







## IM開催報告

第2グループガバナー補佐

**高橋 経雄**

(氏家RC)

2006～2007年度RI2550地区第2グループのI・Mは、2月18日落合雅雄ガバナーのご来臨、ご指



導のもとに、氏家ロータリークラブがホストとなって、ホテル清水荘で開催いたしました。

本I・M開催に向け、2001～2002年度にガバナー補佐を勤められたホストクラブの野澤文立氏が実行委員長となって、I・Mテーマ「参画・共鳴・前進」とサブテーマ「教育的プログラム」を企画し進めました。

第2グループは、5グループ129名という小さなグループです。から、まず経費を節減し、グループ内会員の友情、親睦に還元する予算を中心とすることになりました。当日のプログラムと実施報告書を一体化し、各クラブの今年度の奉仕活動の特徴、あるいは自慢としているクラブの活動状況を、クラブ現況報告の資料と併せて事前に提供していただきました。又、当日の決算報告と記念写真は、氏家ロータリークラブのホームページに掲載し、閲覧、プリントアウトしていただくことでグループの会長・幹事会でご了承していただきました。

さて、吉成容一会員の流暢な司会により、点鐘のあと、

- ・落合ガバナーの挨拶・指導
- ・秋元喜平さくら市長の祝辞

・I・Mプログラムの1コマをお借りして氏家RC記念行事として、さくら市長へ「シンボルツリー（シダレザクラ）目録贈呈」……（後日19. 2. 27の下野新聞で、5つのロータリークラブの交流会「インターシティミーティング」で市長へ手渡された。と掲載）

その後、各クラブ5名の代表者による活動状況報告と続き、後半の教育的プログラムとして、さくら市ゆかりの詩人野口雨情について栃木県歴史文化研究会常任委員長の大嶽浩良先生をお迎えし、「さくら市と雨情」と題してご講演をいただきました。



次期は、馬頭、小川RCがホストに決定し、2006～07年度塩澤雄二会長の挨拶、更に次年度ガバナー補佐をお勤めになる川又茂三氏に挨拶をいただき懇親会に入りました。

当日は、多くの会員夫人が、受付や接待のお手伝いをして、I・Mの目的達成に素晴らしい奉仕活動をして下さいました。

阿部孝憲副実行委員長の閉会のことばのあと、ガバナーと共々「手に手つないで」を合唱し、楽しいミーティングは終了しました。

## I M開催報告 - 広げよう親睦の輪を -



第3グループAガバナー補佐  
**伊東 永峯**  
(宇都宮西RC)



第3グループBガバナー補佐  
**喜内 敏夫**  
(宇都宮南RC)

第3グループA・BのI Mが「広げよう親睦の輪を」のテーマのもと、宇都宮北ロータリークラブがホストクラブとなり、宇都宮グランドホテルにおいて開催されました。

午後2時よりI Mに先立ち、「入会3年未満会員研修会」が開かれ、村上パストガバナーよりロータリー全般のお話をいただいた後、第3グループA・B 9クラブの情報委員長による研修が行われました。

新入会員としてこれだけは知っていて欲しいということ。特にロータリーの四本柱、ロータリア

ンの守るべき道、例会と出席、欠席とメイクアップ、入会することのメリットなどの話をいただきました。約50名の新しい会員は熱心に聞き入り、ロータリアンとしての決意を新たにされたことでしょう。

午後3時30分より約190名の参加によるI Mが開会され、開会セレモニーの後、スペシャルオリンピックス日本、名誉会長細川佳代子様による「可能性への挑戦」と題した記念講演を拝聴いたしました。知的障害者によるスポーツ大会に寄せる、講師の情熱と感動が強い波動で伝わり、聴衆の中では誰一人として席を立つ会員もなく、心満ちた一時間でした。難聴の子供がコーチに従い、トレーニングを積み、世界大会に参加し、音楽がなくてもスタートする時が判らず予選を落ちてしまった。しかし再度演技をする機会を与えられ、8位に入賞できたという感動溢れる話を交え、長野におけるスペシャルオリンピックス開催成功の話、そして、やっと日本国内でも理解されてきたスペ



9クラブによるバナー交換

シャルオリンピックス、これからもぜひご参列の皆様が、何かの形で行動に移され、子供達に力をお貸しいただきたい。と話を結ばれ、大きな感動をいただき記念講演を終了いたしました。

続いての懇親会では、9クラブのバナー交換、スペシャルオリンピックス日本に対して、参加者のカンパによる活動金の贈呈が行われ、ロータリアンの広い親睦の輪を深めることが出来ました。

終わりに、ホストをお引き受けくださった宇都宮北ロータリークラブの皆様、特に実行委員各位に厚く感謝申し上げ報告といたします。



## IM開催報告

第4グループガバナー補佐

**篠原 宣之**

(真岡RC)

第4グループIMは、去る2月25日、真岡市内のホテルに於いてテーマを「新グループ内の会員交流」とし、真



岡・益子・真岡西・しもつけの各クラブより120名の参加のもと、盛大に開催された。ガバナー補佐よりガバナー公式訪問、米山奨学会、ロータリー財団・会員増強、地区大会への協力など、2550地区の現況報告に続き、各クラブ会長より現在までの活動状況について詳細に報告があり、参加した会員にとって他クラブの事業内容を知り、自クラブの活動の参考になった事は大きな収穫であった。

特にしもつけクラブのマッチンググラウンドを活用

してのタイ国への浄水器設置や会員有志による辞書の贈呈は、地元マスコミにも取り上げられ、ロータリー活動の理解と広報に大きく寄与し、多くの会員に国際奉仕の意義を実感し理解を深める機会となった。

その後、第2部の懇親会に移り、「とちぎ音の会」メンバーによるビッグバンドは、懐かしい映画音楽やジャズの演奏をし、優雅な楽しいムードの中、会員相互の親睦も一層深まり名刺や情報の交換など有意義な懇親の場となり、更なる友情と親密な交流を約束し和やかな裡に閉会となった。

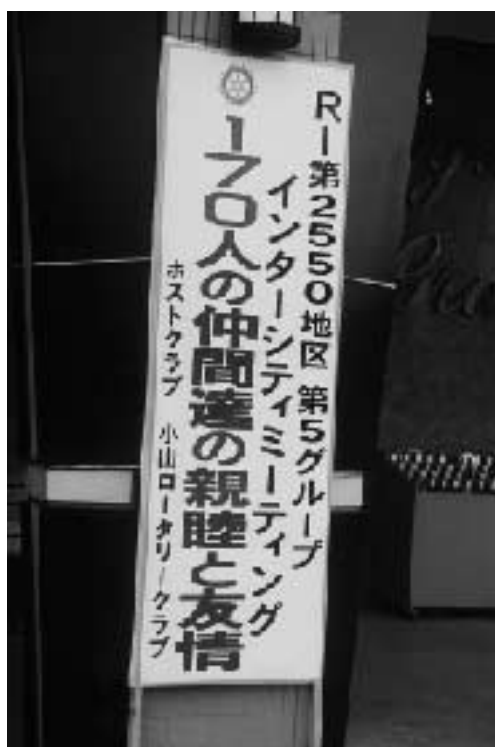




## IM開催報告 —第5グループIM盛大に開催—

第5グループガバナー補佐  
**吉光寺 俊夫**  
(小山RC)

2月25日(日)PM6:30より、第5グループのIMが、小山グランドホテルにて落合ガバナーにも参加をいただき、盛大に開催されました。小山市内5つのロータリークラブが第5グループとして初のIMに、市内170人のロータリアンの内120人が参加されました。市内に170人もロータリアンがいるのに、一体何人の名前と顔と職業を知っているでしょうか。私は親睦無くして奉仕は無いとの考えで、1人でも多くの他クラブのメンバーと交流をし、親睦を深めていただく大懇親会を催し、記念品として、第5グループ170人の顔写真入りカラーの会員名簿を作り配布いたしました。アトラクションには、あの武富士のテレビコマーシャルでおなじみの「エンジェルス」による豪華な歌とダンスの素晴らしいショーで楽しい時間を過ごしました。ホストの小山ロータリークラブの皆様には大変お世話になりありがとうございました。





## IM開催報告

第8グループガバナー補佐

**金井邦夫**

(足利RC)

2006～2007年度、2550地区第8グループ（足利・足利東・足利西・足利わたらせ）のIMが2月10日足利ロータリークラブのホストにより「足利プリオパレス」に於いて開催されました。今年度第8グループは「IM」のテーマ「出会い」「感動」「フェロウシップ」として四部構成で行われました。

まず、第一部として入会3年未満の会員を対象とした「新会員研修セミナー」を15時30分より16時20分10名の会員の参加を得て行われました。開講挨拶としてガバナー補佐より研修の意識と講師の紹介がありました。講師は現地区幹事でロータリー歴40年の中村福蔵氏（足利東）を迎え「ロータリーのよもやま話」と題し和やかな中にもロータリーの本質に触れた大変有意義なセミナーでありました。

第二部は、本会題として16時30分より16時50分堀越貞明君（足利SAA委員長）の司会により点鐘、国歌、ロータリーソングの斉唱、開会歓迎の挨拶をIM実行委員長岡平悟郎（足利RC会長）、その後主催者挨拶と来賓の紹介をガバナー補佐、閉会のことばを殿岡捷男（足利RC幹事）で行われました。

第三部は「講演会」として17時より18時、演題を「笑顔、会話、我慢」にて講師塚越裕子氏を迎え実施されました。塚越氏は全国女将サミットの会長、群馬女将の会会長、渋川みどりロータリークラブ会長、国土交通省の観光カリスマ百人に選出され「温泉宿塚越屋七兵衛」別館「香雲館」の代表取締役を務め、又昭和初期に活躍された高橋是清の孫（母方）として多方面に活躍されている方です。講演内容は講師の生活モットーとしている演題の三つの言葉の大切さを体験をもとにユーモアを交えて話され、会場内の百名のメンバーも和やかに聞き入っていました。ロータリーの関係の話の中では、女性会員の拡大の重要性にも触れておられました。最後には「温泉宿塚越屋七兵衛」の宿泊券ペアで三組のプレゼントがあり、会員の大きな拍手により講演会を終了いたしました。

第四部は、「大懇親会」と称し18時10分より20時まで実施。細田優子さんのピアノ演奏をバックグラウンドミュージックで開会の挨拶を黒田正和（足利東会長）に始まり乾杯を板橋博（次期ガバナー補佐）今回は宴席順は会場入口に於いて抽選により決定させていただき各クラブメンバーと混じり合い、それなりお互いに親交を深めたと思われました。又、登録料も足利東、足利わたらせクラブの例会場でもあり全員登録4,000円に実施できました。最後に田村繁守（足利西会長）の手紙、閉会のことばを木村泰三（足利わたらせ会長）そして会員全員により「手に手つないで」を大合唱。無事IMを終了する事ができました。



新会員研修セミナー 中村福蔵氏の講話



群馬女将の会会長 塚越裕子氏の講演  
演題「笑顔・会話・我慢」



第2550地区大会会長代理に  
国際ロータリー事務総長  
エドウィン H. フタ氏 来訪  
(東ホノルルRC)



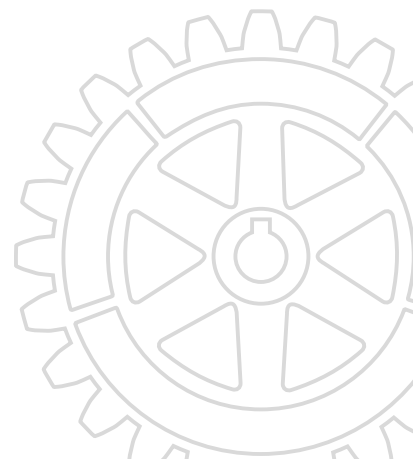
仮装をして盛り上げるエドウィン H. フタ氏

1998年からロータリー事務の戦略的企画立案の責任者として、初めて国際ロータリーの役員に就任する。それから主任情報役員、管理部門総責任者、主任財務役員代理、事務副総長を経て、2000年7月に事務総長に就任する。

ハワイ出身、国際市場調査コンサルタント会社社長を務める。青少年奉仕にも関わり、YMCAのガバナー会、ホノルルの低所得者犯罪弁護センターの調停員などで奉仕活動を行う。




ロータリー入会は1979年、現在、東ホノルルロータリークラブ会員。国際ロータリーでの活動は、地区ガバナー、国際アセンブリーグループ


討議リーダー、委員会メンバー、ロータリー財団地域コーディネイターを務めるかたらわ、国際ロータリー会長代理として数多くの地区大会へ出席している。地区大会、アセンブリーの多くの会場で、また他地区、クラブ会場においても数多くの基調講演を行っている。






物 故 会 員

謹んで哀悼の意を表し  
ご冥福をお祈り申し上げます

	<p>貴志浩三 (76才) (宇都宮R.C.)</p>	<p>2000年～2001年 雑誌委員長 2002年～2003年 雑誌委員長 2004年～2005年 新世代委員長 理事</p>
	<p>ゆいやすし 油井保志 (57才) (鹿沼東R.C.)</p>	<p>1990年～1991年 国際奉仕委員長 1992年～1993年 職業奉仕委員長 1994年～1995年 スマイル会計委員長 1997年～1998年 プログラム委員長 2000年～2001年 職業分類委員長 2001年～2002年 親睦委員会委員長 2005年～2006年 副理事 2006年～2007年 幹事 P H F 準Y</p>
	<p>石川誠二郎 (75才) (岩舟R.C.)</p>	<p>1990年～1991年 地区職業奉仕委員 1993年～1994年 地区職業奉仕委員長 1994年～1995年 地区職業奉仕委員長 1989年～1990年 クラブ会長 2006年～2007年 会員選考委員長 マルチプルポールハリスフェロー</p>

 第2550地区 新入会員

	<p>こむろえつお 小室悦男 (西那須野R.C.)</p>	<p>宇都宮証券株西那須野支店 支店長</p>		<p>一日も早く、ロータリーの活動を楽しみたいと思います。宜しくお願致します。</p>		<p>もりきりゅういち 森木隆一 (西那須野R.C.)</p>	<p>(有)森木総合保険 代表取締役</p>		<p>一生懸命頑張りますので、宜しくお願致します。</p>
	<p>あらいまさいち 新井聖一 (黒磯R.C.)</p>	<p>あらい皮フ科クリニック 院長</p>		<p>常に奉仕の理念を持ち、社会貢献に努めたいと思います。</p>		<p>ほりえ たつ や 堀江竜也 (烏山R.C.)</p>	<p>(有)堀江保険事務所 代表取締役</p>		
	<p>おぎやま たけ ひこ 荻山猛彦 (宇都宮R.C.)</p>	<p>大津屋ビル株 代表取締役</p>		<p>あべ よし ふみ 阿部欣文 (宇都宮R.C.)</p>	<p>宇都宮文化センター株 専務取締役</p>				



なかむら しゅうすけ  
中村 修輔  
(宇都宮東R.C.)

株群馬銀行宇都宮支店  
支店長



新しくお世話になります。宇都宮には知人も多く、故郷のような気持ちです。



わた なべ つねあきら  
渡邊 恒彬  
(宇都宮陽東R.C.)

株クリスタルクラブ宇都宮  
取締役



出戻りですが温かく迎えて頂いて感謝しております。



おばな かずひろ  
尾花 一浩  
(鹿沼R.C.)

税理士法人尾花パートナーズ  
代表社員



かわ なべ きよし  
川邊 清  
(鹿沼R.C.)

(有)K2エンタープライズ  
代表取締役



やまざき よしとも  
山崎 良知  
(鹿沼R.C.)

(有)山崎企画設計  
代表取締役



しのだ ひろゆき  
篠田 洋行  
(足利R.C.)

足利小山信用金庫  
理事長



再入会です。初心に戻り大いに精進していきます。ご指導よろしくお願ひします。



にっ た まさのり  
新田 正徳  
(足利R.C.)

日興コーディアル証券株足利支店  
支店長



ロータリーについては無知ですが、今後努力して参りますのでご指導をよろしく。



こざの きよひろ  
小座野 清博  
(足利東R.C.)

コザノファクトリー



ほんじょう ひろし  
本庄 宏  
(足利わたらせR.C.)

本庄記念病院  
院長



ごとう しゅんいち  
後藤 俊一  
(佐野R.C.)

ごとう歯科医院  
院長



会員皆様との友好を深め、RCを楽しみます。どうぞ宜しくお願いします。



のぐち おさむ  
野口 収  
(田沼R.C.)

佐野信用金庫田沼支店  
支店長



地元田沼町の地域金融機関として、皆様のお役に立ちたいと思います。



おいかわ としひこ  
及川 俊彦  
(田沼R.C.)

サクセスガーデン佐野・ゴールド  
佐野カントリークラブ支配人




## 2006～2007年度 地区主要行事予定

2007年

 地区外行事

月	日	曜日	行 事	場 所	
4	22日	日	第9グループIM	佐野	大津栄
	22-27日	日-金	規定審議会	米国	シカゴ マリオットホテル
	27日	金	地区大会記念ゴルフ大会	栃木	都賀カンツリー倶楽部
	30日	月(祝)	2007-2008年度 地区協議会	宇都宮	作新学院大学
5	12日	土	RI会長代理歓迎晩餐会	宇都宮	宇都宮グランドホテル
	13日	日	地区大会	栃木	栃木市文化会館
6	17-20日	日-水	国際大会	米国	ソルトレークシティ


**文庫通信 (234号)**

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2550

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

### 「ロータリーの源流」

## ◎「奉仕こそわがつとめ」

R. I. 1979 140p

## ◎「奉仕の冒険」

R. I. 1981 130p

## ◎「平和への七つの道」

R. I. 1959 118p

## ◎「われらのつどいーロータリー物語(1)」

直木太一郎 神戸RC 1964 99p

## ◎「世界と共にーロータリー物語(2)」

直木太一郎 神戸RC 1965 129p

[上記申込先：ロータリー文庫(コピー/PDF)]

## ◎「ロータリーの理想と友愛」

ポール P. ハリス著；米川梅吉訳 1978 295p

## ◎「ロータリー・モザイク」

ハロルド T. トーマス著；松本兼二郎訳 1977 327p

[上記申込先：ロータリー文庫]


**ロータリー文庫**

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F

TEL (03)3433-6456 FAX (03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

## 国際ロータリー第2550地区2月会員増強・出席報告

区分	クラブ名	出席率			会 員 数							
		例会数	今月	平均	7月1日	今月	入会	退会	通算増	通算減	増減	内女性会員
第一グループ	大田原	4	89.53	90.71	47	49	0	0	4	2	2	1
	黒磯	4	99.00	98.63	44	46	1	0	4	2	2	2
	西那須野	4	100.00	97.36	49	53	1	0	4	0	4	0
	黒羽	4	95.24	94.65	22	21	0	0	0	1	-1	0
	那須	4	90.63	86.05	24	24	0	0	3	3	0	2
	塩原	4	69.20	76.76	13	11	0	0	0	2	-2	0
	大田原中央	3	72.00	77.69	21	21	0	0	0	0	0	0
第二グループ	烏山	3	94.44	92.68	17	18	1	0	1	0	1	1
	氏家	4	91.67	84.99	36	34	0	0	0	2	-2	0
	矢板	4	83.30	86.51	38	36	0	0	0	2	-2	6
	馬頭小川	3	92.73	92.41	23	23	0	0	0	0	0	0
	高根沢	4	85.25	84.30	17	17	0	0	0	0	0	1
第三グループA	宇都宮	4	71.90	73.38	101	102	2	1	10	9	1	0
	宇都宮西	4	95.19	92.78	60	64	0	0	6	2	4	0
	宇都宮北	4	82.73	78.14	57	57	0	0	0	0	0	0
	宇都宮90	3	92.20	89.45	44	43	0	0	2	3	-1	5
	宇都宮陽北	4	76.40	79.80	35	37	0	0	3	1	2	6
第三グループB	宇都宮東	4	96.60	92.91	104	103	1	1	3	4	-1	0
	宇都宮南	4	86.11	80.36	49	50	0	0	2	1	1	0
	宇都宮陽東	4	82.21	84.57	41	44	0	0	3	0	3	1
	宇都宮陽南	4	93.80	90.29	19	20	1	0	1	0	1	4
第四グループ	真岡	4	86.84	83.64	40	41	0	0	5	4	1	0
	益子	4	94.10	91.10	44	41	0	0	0	3	-3	0
	真岡西	4	92.05	92.59	45	45	0	0	1	1	0	8
	しもつけ	3	93.33	87.78	29	30	0	0	1	0	1	8
第五グループ	小山	5	90.00	89.46	47	50	0	0	3	0	3	0
	小山南	4	95.24	95.25	20	21	0	0	2	1	1	1
	小山東	4	88.69	90.68	42	42	0	0	0	0	0	0
	小山北	3	88.54	82.02	29	32	0	0	3	0	3	0
	小山中央	4	78.00	74.88	27	27	0	0	0	0	0	1
第六グループ	栃木	4	81.80	77.11	55	55	0	0	1	1	0	0
	栃木西	4	91.17	86.16	43	44	0	0	1	0	1	2
	壬生	4	90.00	92.25	19	19	1	2	2	2	0	2
	栃木南	4	90.40	87.48	36	35	0	0	0	1	-1	4
第七グループ	日光	3	63.49	75.51	31	30	0	0	0	1	-1	3
	鹿沼	4	82.91	89.27	70	74	0	0	4	0	4	1
	今市	4	91.11	90.84	46	45	0	0	0	1	-1	0
	鹿沼東	4	87.26	91.62	47	46	0	1	1	2	-1	2
	栗野西方	4	92.15	97.11	17	16	1	0	1	2	-1	1
	鹿沼中央	4	89.17	88.06	31	31	0	0	0	0	0	1
	今市きぬ	4	93.33	92.71	30	30	0	0	0	0	0	1
第八グループ	足利	4	91.14	84.28	49	48	1	0	3	4	-1	0
	足利東	4	73.00	76.80	61	63	1	0	2	0	2	6
	足利西	4	73.33	77.09	15	15	0	0	0	0	0	0
	足利わたらせ	4	90.00	93.25	26	29	1	0	3	0	3	0
第九グループ	佐野	2	80.60	87.58	59	60	0	0	3	2	1	0
	葛生	4	91.60	89.76	36	36	0	0	1	1	0	0
	田沼	4	88.09	93.26	40	43	2	0	4	1	3	0
	佐野東	4	91.66	84.62	23	24	0	0	2	1	1	0
	岩舟	3	83.20	81.26	30	28	0	0	0	2	-2	1
50RC			87.25	86.94	1948	1973	14	5	89	64	25	71

### お知らせ

◎拉致被害者支援義捐金 合計141,439円をガバナー会に送金しましたので、会員皆様のご協力に感謝申し上げます。

